

## 発刊によせて

千葉地域は千葉県西部に位置し、南北に長く、首都圏にありながら都市農業、平坦地農業、中間農業といった多様な農業が展開されています。生産品目にもんじん、だいこん、いちご、なしなどの園芸品目をはじめ、水稲、酪農などバラエティに富んでいます。

「千葉県農林水産業振興計画（令和4年3月）」は、県政運営の基本計画である千葉県総合計画「～千葉の未来を切り開く～『まち』『海・緑』『ひと』がきらめく千葉の実現」を上位計画とし、「力強く、未来につながる千葉の農林水産業」を目標に掲げ、本県農林水産業における10年後の目指すべき姿を示しました。千葉農業事務所ではそれを受け、「第6次千葉地域農林業振興方針（令和4年3月）」を策定し、重点施策に「にんじん」「だいこん」「日本なし」「水田農業」を位置づけ、具体的な取組を定めました。

令和5年度農業改良普及指導計画は、千葉地域の特性を生かし、Ⅰ地域農業を支える多様な担い手の育成・確保、Ⅱ持続性のある園芸産地づくり、Ⅲ農業基盤を守る地域営農の仕組みづくりと経営体の育成、Ⅳ経営改善による畜産経営体の体質強化の4つを柱として普及指導計画を展開しました。

担い手育成では、新規・若手就農者や女性農業者など地域農業の次代を背負って立つ担い手を対象とした農業経営体育成セミナーや青年農業者等スキルアップ研修、農業実践力向上研修といった各種研修会を開催するとともに、指導農業士や農業士が新規就農者等と交流する活動を支援しました。

また、現地活動では、WCS用稲の生産利用拡大による耕畜連携を推進するとともに、なし、にんじん、だいこんなどの園芸産地の維持・発展や、地域の農業基盤を守る水稲農家の経営安定に向けた技術向上、新品種導入に取り組みました。

本誌では、これらの活動の中から、本年度の主要な活動を「普及活動の成果」及び「普及活動の記録」として取りまとめました。これらの事例が地域農業振興へのヒントになるとともに、普及活動への御理解の一助としていただければ幸いです。

結びに、農業改良普及事業の推進に御協力と御支援をいただいた関係者及び関係機関の皆様へ感謝申し上げますとともに、今後とも一層の御支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年3月

千葉県千葉農業事務所長 加藤 英和